

都市計画

昭和 48 年度の都市計画事業は昨今の都市問題に対応して高い伸率を示し、平均 1.59 倍 (4105 億円) となっており、とくに公園事業は 1.79 倍 (429 億円)、下水道事業は 1.58 倍 (3468 億円) とそれぞれ都市計画事業の重点施策となっている。また街路事業・土地区画整理事業・市街地再開発事業についてもその伸率はそれぞれ 1.26 倍 (2686 億円)、1.25 倍 (900 億円)、1.20 倍 (115 億円) と他の公共事業と同程度の伸びを示している。

公園事業については昨年に引き続き、都市公園整備 5 か年計画により、昭和 60 年度までに都市計画区域内人口 1 人あたり公園面積 9 m² の水準を確保することを長期の目標として、整備の重点を、① 都市環境改善のための基幹公園の積極的整備、② 公害・災害対策としての緩衝緑地帯の緊急整備、③ 広域レクリエーション需要に対応するための大規模公園の整備などにおいている。

名 称	デ ー タ
旭川圏都市計画都市高速鉄道宗谷本線高架化事業 (① 宗谷本線 鉄道高架、② 北海道旭川市国鉄宗谷本線旭川駅-新旭川駅間、③ 100% 完成 (昭和 49 年 1 月 15 日現在))	事業実施箇所：旭川市宮下通 12 丁目一大雷通 3 丁目 事業主体：北海道庁 工事期間：昭和 46 年 1 月 26 日～49 年 3 月 31 日 事業予算：23 億 6000 万円 (都市側 11 億 9000 万円・国鉄側 11 億 700 万円、うち、土木費 18 億 9000 万円) 設計：延長 2660 m・計画線数 2 線・RC ラーメン高架 1210 m 幅員 9.70 m・P C 橋梁 124 m 幅員 9.40 m 施工業者名：大成建設・鉄建建設・川田工業ほか
梅 新 東 交 差 点 改 良 工 事 〔① 御堂筋線梅ヶ枝ランプ、② 大阪市 ③ 100% 完成 (昭和 47 年 7 月 31 日 現在)〕	事業実施箇所：大阪市北区曾根崎中一北区梅ヶ枝町地先 事業主体：大阪市 工事期間：昭和 46 年 1 月 21 日～48 年 7 月 16 日 事業予算：8 億 5000 万円 延長：701 m 幅員：8.3 m～14.75 m 下部構造：場所打杭基礎、RC および鋼製脚 上部構造：単純合成桁 12 連 (支間 27 m～35 m)・単純鋼床板桁 4 連 (支間 30 m)・3 径間純鋼床桁 (36 m+66.225 m+36 m) 使用材料：鋼材約 3000 t、コンクリート 7000 m ³ 施工業者名：大成建設・清水建設・日本橋梁
割子川岩屋線立体交差 〔① 陣原立体交差 1 号橋および 2 号橋、 ② 福岡県北九州市八幡区陣原、③ 96 % 完成 (昭和 48 年 12 月 20 日現在)〕	事業実施箇所：北九州市八幡区穴生一陣原一夕原地内 事業主体：北九州市 工事期間：昭和 45 年 7 月 15 日～49 年 3 月 31 日 事業予算：11 億 7000 万円 (うち、用地費 2 億 6000 万円) 工事長：1 号橋 560 m・2 号橋 410 m、計 970 m 幅員：14.4 m 取付部 (撞壁工)：1 号橋 291 m@2=582 m・2 号橋 157 m@2=314 m、計 448 m@=896 m 橋台 (半重力式)：1 号橋 4 基・2 号橋 2 基、計 6 基 橋脚：(ラーメン形式) 1 号橋 14 基・2 号橋 2 基、計 21 基 (鋼製 T 形式) 1 号橋 2 基 上部工 (床版)：1 号橋 23 径間・2 号橋 7 径間、計 31 径間 上部工 (桁)：H.B.B. 桁 / 1 号橋 18 径間・2 号橋 5 径間計 23 径間、プレートガーダー / 1 号橋 5 径間・2 号橋なし 計 5 径間、3 径間連続ボックスガーダー / 1 号橋なし 2 号橋 3 径間 (1 式) 計 3 径間 (1 式)；総計 31 径間 施工業者名：大成工業・三菱重工業・石川島播磨重工業ほか
都市計画街路庄川放生線新庄川橋梁整備事業 (② 富山県新湊市、③ 100% 完成 (昭和 49 年 3 月 31 日現在))	事業実施箇所：富山県新湊市庄西町・庄川本町地内 事業主体：富山県 工事期間：昭和 45 年 9 月 4 日～49 年 3 月 31 日 事業予算：5 億 9000 万円 計画決定：昭和 42 年 4 月 5 日 計画決定 (変更)：昭和 46 年 1 月 16 日 事業認可：昭和 46 年 3 月 3 日 施工業者名：下部 / 北土木・東保組・横田組、上部 / 日本鋼管
都市計画街路事業築港三井線歩行者専用道 (① 三井線、② 岡山県玉野市、③ 75% 完成 (昭和 48 年 12 月 31 日現在))	事業実施箇所：岡山県玉野市築港一玉地内 事業主体：玉野市 工事期間：昭和 47 年 10 月～49 年 3 月 事業予算：7000 万円 道路幅員：3.4 m～11.1 m 延長：2670 m 施工業者名：児島建設・玉野土木・新日本土木
大分都市計画事業・津留土地区画整理事業 (② 大分県大分市、③ 88% 完成 (昭和 49 年 1 月 20 日現在))	事業実施箇所：大分県大分市 事業主体：大分市 工事期間：昭和 38 年 10 月～50 年 3 月 事業予算：36 億 5000 万円 面積：253 ha 都市計画道路：臨海産業道路ほか 2 路線・幅員 20 m～40 m・延長約 3800 m 区画道路：幅員 4 m～20 m・延長約 50300 m 広場：1 か所 530 m ² 公園緑地：30 か所 15 万 7600 m ²
大阪都市計画事業・新大阪駅周辺土地区画整理事業 (② 大阪市東淀川区、③ 95% 完成 (昭和 49 年 1 月 20 日現在))	事業実施箇所：大阪市東淀川区 事業主体：大阪市 工事期間：昭和 37 年 9 月～50 年 3 月 事業予算：344 億円 面積：288 ha 都市計画道路：御堂筋線ほか 7 路線・幅員 20 m～90 m 延長約 9500 m 区画道路：幅員 4 m～20 m 延長約 5 万 7600 m 広場：3 か所 面積約 1 万 1300 m ² 公園緑地：28 か所 面積約 7 万 7500 m ²
釧路市都市計画西郊地区里が浦北部土地区画整理事業 (② 北海道釧路市、100% 完成 (昭和 48 年 9 月現在))	事業実施箇所：北海道釧路市 事業主体：釧路市 工事期間：昭和 44 年度～48 年度 事業予算：4 億 6000 万円 施行面積：167 ha 都市計画街路：国道幹線ほか 3 路線、延長 6800 m 区画街路：幅員 6 m～18 m、延長 1 万 8700 m 公園：近隣公園 1 か所・児童公園 3 か所、計 4.1 ha 公共用地率：施行前 3%・施行後 23%
浜松市佐鳴湖東岸土地区画整理事業 (② 静岡県浜松市、③ 80% 完成 (昭和 49 年 1 月 20 日現在))	事業実施箇所：静岡県浜松市 事業主体：佐鳴湖東岸土地区画整理組合 工事期間：昭和 44 年度～50 年度 事業予算：22 億 5000 万円 施行面積：154 ha 都市計画街路：泉倉松線ほか 3 路線、延長 3000 m 区画街路：幅員 6 m～14 m、延長 3 万 2100 m 公園：佐鳴湖公園 3.6 ha ほか 4 か所 計 5.2 ha 公共用地率：施行前 5%・施行後 24%
神戸国際港建設事業・新多聞土地区画整理事業 (② 兵庫県神戸市、③ 80% 完成 (昭和 48 年 12 月 31 日現在))	事業実施箇所：兵庫県神戸市垂水区多聞町字入道谷、大沢、池ノ谷および荒ヶ谷の全部、字坂飯、大門前、折ヶ谷、火ノ蔵、寺ノ町、湯屋、三ツ池、上ノ畑、前田、陣屋、井口平、陣屋谷および小東山の各一部 事業主体：日本住宅公団 工事期間：昭和 46 年度～54 年度 事業予算：67 億 3000 万円 都市計画決定：昭和 43 年 12 月 28 日 都市計画事業の承認：昭和 46 年 4 月 19 日 (昭和 49 年 1 月 23 日変更) 面積：193.4 ha 計画人口：3 万 5300 人 (180 人/ha) 都市計画街路：2.1.25 舞子多聞線 (幅員 20 m)、(1)・小.10 商大線 (幅員 9 m) その他 1 線を予定している。公共用地率：施行前 2.63%、施行後 22.67%

街路事業においては、① 都市内の主要幹線街路の整備、② 平面交差点の立体化、都市鉄道の高架化事業、③ 都市高速道路・高速自動車国道に関連する街路の整備、④ 歩行者および自転車の安全と生活環境の改善をはかるための歩行者専用道の整備、⑤ 下水道・公園等生活基盤施設に関連した街路の整備、⑥ 鉄道駅・トラックターミナル・空港・港湾等の交通施設と連絡する街路、新幹線および地下鉄の建設に関連する街路、⑦ 研究学園都市・新東京国際空港等国家的大規模事業に関連する街路の整備に重点をおいている。

土地区画整理事業では、公共団体施行について、① 大都市・地方中心都市などの市街化傾向の著しい地域における幹線街路等の整備に関連する事業、② 山陽新幹線・新東京空港関連・鉄道高架関連地区の事業、組合施行については、今後新たに市街化が予想される新市街地についての事業に重点をおいている。

市街地再開発事業も継続事業を含め全国で 55 か所の事業が行われた。

このように昭和 48 年度の事業は実施されたが、住民の環境保全に対する意識の向上に伴い生活環境整備事業に重点が移される一方、道路関係の事業は住民の反対により停滞の傾向がでてきた。

概 要	特 色
30 万都市旭川の市街地を東西に分断している国鉄宗谷本線を、線増計画にあわせ高架化することにより、都市計画道路 4 本を含む 11 か所事業実施の踏切道を除去し都市内交通の円滑化をはかるとともに、一体的な市街地形成による都市機能の増進を目的として計画された。旭川は全国屈指の積雪寒冷地であるため、高架構造には除雪スペース落雪防護壁等、交差道路では急勾配区間にロードヒーティングを施工し冬期間の交通安全確保につとめ、騒音・日照・電波障害等住民に対する環境保全を十分配慮し施工された。	
梅新東交差点は都心から国鉄新大阪駅、千里ニュータウンを経て箕面に至る大幹線道路、新御堂筋の起点で国道 1 号線に直結しているため、終日交通渋滞停滞している状態にあった。今回の改良工事は既設の新御堂筋高架道路の一部を延伸させて交差点上に L 字型の高架道路を新設したもので、交通量の緩和、周辺道路の機能増強をはかるのがねらいであった。工事完成後は梅新東交差点付近の交通はスムーズに流れ、当初の目的は十分に達せられている。	
本立体交差は北九州道路黒崎インターチェンジと若松区とを連絡する幹線道路（割子川岩屋線）が国道 3 号と西日本鉄道（1 号立体橋）および鹿児島本線（2 号立体橋）を立体交差する幅員 14.4m（高架部）延長 970m の高架橋である。本工事のうち鹿児島本線の上部工主桁はボックスガーター（3.00m×2.10m×150.30m）2 本で 3 径間連続桁、総鋼重量 640 トンでペント工法および手延工法の併用にて架設した。架設の時間については深夜の閉鎖時間 1 時 10 分から 2 時までの約 50 分間で施工するため 1 日の進捗率は非常に少なく、架設だけで 5 か月間を要した。施工地域は住居密集地域で交通公害（騒音）の発生が予想されるため、地元からの強い要望により、防音壁設置の計画を立てている。	
本橋は一級河川庄川の河口部に位置し、現橋が幅員 6m と狭く交通渋滞が著しいため、現橋に併設して幅員 6.5m・橋長 419m の新橋を建設し、上下線を分離し交通緩和と歩行者・自転車の安全をはかろうとするものである。構造形式は現橋のスパン割から 7@59.5m のスパン割が最適と考え、また橋種についてはランガー桁・単純トラス・連続トラス等につき検討した結果、3 および 4 径間連続平行弦ワーレントラス各 1 連を採用した。下部工は逆 T 式・壁式で基礎工は鋼管杭基礎である。施工にあたり最も配慮したことは、新橋が現橋と非常に近接しており、現橋の掘入れが浅いこと、また砂地盤で計画河床高、常時水深が深いことから新橋の基礎の掘削に際し、現橋に対する悪影響が懸念されクイックサンドと漏水防止の目的で薬液注入工法を採用し、所期の成果が得られた。またトラスの工場製作に NC 製作法を採用し厚さ・切筋・突孔を数値制御により実施した。	
本路線は、宇野駅から奥玉に至る延長 4.7km の市営電鉄が昭和 47 年 3 月 31 日に廃止されたのに伴い、中心市街地から三井造船所に至る間を通勤・通学の安全と利便をはかり、交通混雑の緩和に役立てるため歩行者専用道として整備したものである。実施計画においては特に修景に留意し、両側にポプラ、ウバメガシなどを植栽し、停留所跡には市花のツツジを配した。また本事業が市民の生活環境に密着したものであることから市民一般および市内企業等から用地ならびに植栽の寄贈を受けた。	
本事業は、大分臨海工業地帯の造成に伴う埋立地の背後地に位置し、製鉄所建設による急速な発展に備えるため、都市計画道路 3 路線のほか、区画道路、広場、公園緑地等を整備するもので、大規模土地区画整理事業の一例である。事業には昭和 39 年度より本格的に着手し約 10 年の年月ののちそのほとんどの工事が完了したものである。	
本事業は、東海道新幹線大阪駅の建設に関連して、駅周辺の市街地を先行的に整備することにより急速な市街化に対処するとともに、都心部との円滑な連絡をはかるべき都市計画道路を整備するものである。とくに地区中央を南北に貫通する御堂筋線は、幅員 50m~90m で中央部に高速鉄道敷を有し、昭和 39 年新幹線開業時、昭和 45 年万国博開催時にあわせ、早期に完成されたものである。	
本地区は釧路駅西方 6km に位置し、国道 38 号線沿いの面積 167ha の地区で、表層が泥炭層の湿地帯であるため農耕にも不適合であったが、周辺地区の整備に伴い工業用地および住宅用地として開発整備されるにいたった。計画では、地区の西約 1/3 を住宅地に、他の 2/3 を工業地とし、それぞれの土地利用に相応した設計を行うとともに両地区の間に緩衝緑地帯を設けた。住宅地区内に小学校を配し、地区全体の計画人口を 1 万 1000 人とした。	
本地区は、浜松駅の西方約 3km の標高約 26m の丘陵地にあって、西側は佐鳴湖に接し、また地区内に貝塚、古墳等を含む面積 154ha の地区である。計画では隣接地区を含めた約 180ha を一近隣住区として、計画人口 1 万 4000 人とした。小中学校、コミュニティーセンターを核としてショッピングセンター、幼児園、公園等を配するとともに県営住宅、病院等の誘致を行い良好な住宅市街地の形成をはかった。さらに佐鳴湖の景観保存、地区内の遺跡、自然緑地の保全にも設計上の配慮を加えた。	
この開発事業は近畿圏の住宅、宅地難の緩和と、神戸市および多聞地域の発展に資するため、約 193ha の区域について土地区画整理事業により計画人口 3 万 5000 人を擁する新しい街を建設しようとするものである。本地区は、国際港都神戸の都心から 15km の地点にある気候温暖、前方に明石海峡を隔ててはるかに波路島を望む風光明媚な丘陵地にあり、その豊かな自然環境との調和、生活に必要な公共・公益施設の整備をはかる等により、人間性豊かな理想的な街づくりをめざしている。	

名 称	デ ー タ
甲山公園整備事業 (② 兵庫県西宮市, ③ 97% 完成 (昭和49年1月30日現在))	事業実施箇所: 甲山公園 事業主体: 兵庫県 工事期間: 昭和43年1月27日~49年3月31日 事業予算: 9億4000万円 面積: 57.6ha おもな施設: 園路・ピクニックコース・休養広場・記念広場 施工業者名: 松下組・松田組ほか
県営富津公園整備事業 (① ジャンボプール(プール部分), ② 千葉県富津市, ③ 64% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 富津市元州 事業主体: 千葉県 工事期間: 昭和47年4月1日~52年3月31日 事業予算: 18億円 面積: 108ha おもな施設: 園路・広場・大展望塔・ジャンボプール 施工業者名: 鹿島建設・急工電機水道・斉藤三商店
鶴崎地区共同福利施設建設事業 (① 松原緩衝緑地, ② 大分県大分市, ③ 80% 完成 (昭和49年1月20日現在))	事業実施箇所: 大分市三佐 事業主体: 大分市 (公害防止事業団) 工事期間: 昭和47年12月7日~49年3月15日 事業予算: 4億3000万円 面積: 16ha おもな施設: 園路・広場・野球場 施工業者名: 若築建設・梅林建設・内山緑地建設
千島公園整備事業 (② 大阪市, ③ 90% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 大阪市大正区千島町 事業主体: 大阪市 工事期間: 昭和45年4月~50年3月31日 事業予算: 4億5000万円 面積: 11ha おもな施設: 展望の丘 (35m)・運動広場・体育館・児童遊戯場 施工業者名: 日栄建設・大林組・三方園
金沢都市計画金沢市武蔵ヶ辻第二地区市街地再開発事業 (② 石川県金沢市, ③ 100% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 金沢市武蔵ヶ辻 事業主体: 金沢市 工事期間: 昭和45年4月1日~49年3月31日 事業予算: 76億3000万円 施行面積: 1.9ha 都市計画決定: 昭和46年3月 権利変換計画決定: 昭和46年12月 建築施設等工事: 昭和47年5月~48年9月 施工業者名: 竹中工務店
桑名都市計画桑名駅前市街地再開発事業 (② 三重県桑名市, ③ 98% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 桑名市桑名駅前 事業主体: 桑名市 工事期間: 昭和44年4月1日~50年3月31日 事業予算: 53億4000万円 施行面積: 2.4ha 都市計画決定: 昭和45年2月 権利変換計画決定: 昭和46年1月 建築施設等工事: 昭和46年2月~昭和48年9月 施工業者名: 鹿島建設
阪神間都市計画 (宝塚市) 宝塚南口駅前地区市街地再開発事業 (② 兵庫県宝塚市, ③ 100% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 宝塚市宝塚南口駅前 事業主体: 宝塚市 工事期間: 昭和44年4月1日~49年3月31日 事業予算: 34億3000万円 施行面積: 1.1ha 都市計画決定: 昭和45年4月 権利変換計画決定: 昭和47年2月 建築施設等工事: 昭和47年8月~49年2月 施工業者名: 竹中工務店・奥村組

**水資源・上水道
下水道・工業用
水道・環境衛生**

水資源開発は、都市人口の集中・増大および産業の発展などにより急激に増大する需要に対処するため、多目的ダムの建設を主に、河川水の広域の利用・水利用の合理化等をはかるものである。また、近年水資源の“量”のほかに“質”が問題となっており、今後とも十分な検討と対策が望まれる。

上水道 (簡易水道、専用水道を含む) の普及率は昭和47年末で84.3%に達し、国民の公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与し、都市の産業基盤としても重要な役割を果たしている。給水量は年々増加しており、とくに生活様式の多様化、建築物の高層化によるビル用水、大都市周辺における住宅団地等の造成による都市化の影響が大きい。これらの給水量を確保するため、建設事業は依然として活発であり、昭和48年度は4860億円が見込まれている。

名 称	デ ー タ
両筑平野用水事業 (② 福岡県甘木市ほか4町, ③ 92% 完成 (昭和49年1月31日現在))	事業実施箇所: 福岡県甘木市ほか4町 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和39年4月1日~49年3月31日 (昭和42年4月農林省より承継) 事業予算: 113億4000万円 江川ダム: 形式 重力式コンクリートダム・堤高79m・堤体積26万m ³ ・堤頂長298m・有効貯水量24万m ³ 頭首工: 2か所 水路: 約33km 施工業者名: 大成建設/西松建設 JV・三菱建設・大本組ほか
木曾川用水事業 (② 岐阜県美濃加茂市ほか2市5町1村, 愛知県津島市ほか4町4村, 三重県桑名郡長島町ほか1町, ④ 43% 完成 (昭和49年1月31日現在))	事業実施箇所: 岐阜県・愛知県・三重県 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和39年4月1日~53年3月31日 (昭和44年12月農林省より承継) 事業予算: 484億円 上流部: 白川取水口1式 幹線水路36km・支線水路39km・調整池2か所 中流部: 鶴沼取水口1式・支線水路5km 下流部: 馬頭頭首工 (可動堰) 715m・幹線水路39km・支線水路41km 施工業者名: 前田建設工業, 三菱重工業・日本鋼管ほか
琵琶湖開発建設事業 (② 滋賀県琵琶湖, ③ 3% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 滋賀県琵琶湖および湖周辺地域 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和43年4月~56年3月 事業予算: 720億円 湖岸堤: 3.9km 湖岸堤管理用道路: 43.6km 湖岸堤関連河川改修: 13河川 内水排除: 6地区 液漂: 570万m ³ 補償工事: 農業施設・上水道施設・工業用水施設・港湾施設・水産施設・河川管理施設・橋梁改修・船溜等
徳山ダム建設事業 (② 岐阜県揖斐郡, ③ 2% 完成 (昭和49年3月31日現在))	事業実施箇所: 岐阜県揖斐郡徳山村 事業主体: 水資源開発公団 工事期間: 昭和46年4月~54年3月 事業予算: 330億円 ダム形式: ロックフィルダム 堤高: 161m 堤頂長: 420m 堤体積1060万m ³ 総貯水容量: 6億6000万m ³ 有効貯水容量: 3億5000万m ³